

(1) ねらい

米の生産が盛んな都道府県を白地図にまとめ、平野や川をまとめた地図と重ねて読み取る活動を通して、日本の米の生産は主に東北地方において盛んであることや、平地で川がある地域において多く生産されていることに気づき、表現することができる。

(2) 評価規準

日本の米の生産は主に東北地方で盛んであることや、平地で川がある地域において多く生産されていることに気づき、表現している。(思考・判断・表現)

(3) 学習展開 (4/5)

過程	学習活動	指導・援助 (留意点)
導入	<p>1 給食で使用される米が県産であることと年間の使用量を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県の米だけで給食分の量を作っているのはすごい。</li> </ul> <p>2 岐阜県の米の生産量が、全国第25位である事実から、岐阜県の米の生産量は上位ではないことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県よりも米の生産量が多い都道府県はどこだろうか。</li> </ul> <p>3 課題をつくる。</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県の給食で年間に使用される米の消費に一人で15000年かかることを、原始人→貴族→武士→現代人のイラストを順に提示し、時間の感覚をもつことができるようにする。</li> </ul>
	<p>どんなどころで米は多く生産されているのだろう。</p> <p>4 予想して、追究の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暖かい都道府県でたくさん生産しているのではないか。</li> </ul> <p>5 個人追究する。</p> <p>提示資料：①日本の米の生産量を表した帯グラフ</p> <p>作成資料：②米の生産量が多い都道府県の地図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地方に、米の生産が盛んな都道府県が集まっている。</li> </ul> <p>6 東北地方で米作りが盛んである理由を考える。</p> <p>作成資料：③日本の平地、川の分布地図</p> <p>作成資料：②米の生産量が多い都道府県の地図</p> <p>作成資料：②と③を重ねた地図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広い平地や大きな川があるから東北地方では米作りが盛んだと思う。</li> <li>・米の生産には、水と平らな場所が必要だと思う。</li> </ul>	
展開	<p>7 日本の米の生産についてまとめる。</p> <p>日本の米は、東北地方で生産が盛んである。なぜなら、大きな川が流れていたり、広い平野が広がっていたりして、水田が作りやすい自然環境が整っているからだ。</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストアプリを使って、作成資料②と③を重ねることで、米の生産が盛んな地域の地形に着目できるようにする。</li> </ul>
	<p>8 世界における米の生産が多い国の雨温図と新潟県の雨温図を比較して、次単元への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイでは、一年中気温が高いけれど新潟県の気温は冬に低い。</li> <li>・東北地方のように寒い地域が米の生産には向いているかと思っていたけれど、暖かい地域の方が生産しやすいのだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界における米の生産が多い国の雨温図と新潟県の雨温図を提示し、新潟県の気候条件との相違点から米作りに対する新たな疑問をもつことができるようにする。</li> </ul>
終末		